

郷土酒亭 元祖 炉ばた

仙台にある炉端発祥の店が廃業の危機。歴史をつないだのは、飲食店を営む若き経営者だった。老舗の味や雰囲気を守りながら、更なる成長に向けて新たな取組みを進めている。



私の原点であるこの店を

しっかりと守っていきま

現経営者 吉田将紀さん

歴史や想いを受け継いでくれて

本当に嬉しい

先代経営者 加藤潔さん
和子さん

STORY'S POINT

- ✓ 炉端発祥の店といわれる仙台の「郷土酒亭 元祖 炉ばた」は、70年にわたり、地元だけでなく全国各地の人々から愛されてきた。しかし、店主の加藤潔氏には後継者がおらず、コロナ禍の影響で客足も遠のいたため、店を閉めることを決めた。
- ✓ 東京・新宿で、炉端焼き居酒屋等を経営する吉田将紀氏は、炉端発祥の当店に10年ほど前から通っており、店主と懇意にしていた。店主から閉店の話を聞いた吉田氏は、「この店は私の原点。決してなくてはならない」との思いから、「元祖 炉ばた」の事業承継を決意した。
- ✓ 事業承継後、老舗の味や雰囲気を守りつつ、更なる成長に向けて、新メニューの追加による顧客開拓や店舗管理システムの導入による生産性の向上等に取り組んでいる。

Company Information -----



所在地 宮城県仙台市 業種 飲食店
創業 昭和25年 従業員数 2名

譲渡側

郷土酒亭 元祖 炉ばた 店主(当時)
加藤 潔さん (当時77歳)

「元祖 炉ばた」の2代目店主。創業者から店を受け継ぎ、36年間にわたって、妻の和子さんとともに店を守り続けてきた。

第三者承継 (事業譲渡、令和2年8月)

譲受側

株式会社絶対好調 社長
吉田 将紀さん (当時44歳)

東京・新宿において居酒屋等を多店舗展開する経営者。加藤さんの想いを受け継ぎ、「元祖 炉ばた」の事業承継を決意した。

事業承継までの道のり

譲受側



株式会社絶対好調を設立

譲渡側

約70年前

「天賞酒造」蔵元の三男 天江富弥氏が「元祖 炉ばた」を創業

約35年前

当時、従業員だった加藤さんが「元祖 炉ばた」の2代目に就任

平成19年

「元祖 炉ばた」の歴史を教えてください
加藤:「おんちゃん」という愛称で親まれた天江富弥氏が、実家の「天賞酒造」のお酒を広めるため創業しました。当時は、交友関係の広い天江氏を慕って、芸術家の岡本太郎氏や作家の遠藤周作氏らも通い、地域の人々と文化談義に花を咲かせていました。

平成23年

東日本大震災により「天賞酒造」が廃業「元祖 炉ばた」も廃業を考えたが、別の酒蔵が「天賞の酒」を引き継いだこともあり、事業継続

令和2年4月

この頃から年に1~2回「元祖 炉ばた」を訪れるように

コロナ禍に直面。宴会自粛等の影響を受け、飲食業界が苦境に当社や「元祖 炉ばた」も売上が減少した

令和2年6月

事業承継にあたって取り組んだことは？

吉田:加藤ご夫妻の話や炉ばたに関して調べた内容を元に、「元祖 炉ばた」を徹底的に研究し、自分で資料にまとめました。経営していくうえで、先代の想いを受け継ぐことが、大切だと思ったからです。

コロナ禍の影響で廃業を検討

令和2年7月

「元祖 炉ばた」の事業承継を決意

吉田さんに事業承継を打診

令和2年8月~

「元祖 炉ばた」を事業譲受

株式会社絶対好調に事業譲渡

新メニュー追加による顧客開拓や店舗管理システムの導入による生産性の向上等に取り組む

事業承継後の状況について教えてください

吉田:事業承継前と変わらぬ雰囲気や営業できています。加藤ご夫妻は、事業承継する前に、120人の常連客一人ひとりに電話をかけてくれたそうです。スムーズに事業承継できたのは、加藤ご夫妻のお店を想う気持ちがあったからこそだと思います。

事業承継に対してこだわったことは？

加藤:お店の歴史や想いを受け継いでくれることが条件でした。信頼できる人に事業承継できないのであれば、廃業してもいいと思っていました。実は、事業承継が決まった後、吉田さん自ら天江氏の墓参りをしてくれたのです。お店の歴史や想いを受け継ぐという強い気持ちがなければ、決してできないことです。

炉端発祥の店が再出発 事業承継がコロナ禍を乗り越えるヒントに



新メニューの「スルメイカの肝わた焼き」と「牛タン 筆書きの領収書はしっかりと受け継ぎました。 若女将の湯田さん。和子さんの後を継ぎ、お燗を提供します。スタミナ鉄板焼き」

歴史や想いをしっかり理解しなければ、
炉端発祥店を受け継ぐことはできない

吉田 「元祖 炉ばた」は炉端発祥のお店で、加藤ご夫妻とは顔なじみでした。加藤さんから閉店の知らせが届いたのは、令和2年6月のこと。最後にお店を見届けておきたいと思い、「元祖 炉ばた」にお伺いしました。食事をしているときに、ふと奥さまから「吉田さんにこの店を継いでもらえたらいいんだけど」と打ち明けられました。一瞬、頭が真っ白になってしまいましたが、色々と考えを巡らせるうちに、ご夫妻の想いに応えたいという気持ちでいっぱいになりました。帰り際に、「私でよければ、ぜひやらせてください」とお伝えしました。

加藤 私には後継者がいません。まだまだ続けるつもりだったのですが、コロナ禍で客足が遠のいてしまいました。口には出しませんが、吉田さんがこの店を引き継いでくれたらという想いがありましたので、**吉田さんの言葉を聞いたときは本当に嬉しかったです。**

吉田 当社は炉端焼き店を経営していますので、当社のルーツともいえるお店がなくなることはとても残念だと思いました。承継を決意してから、「元祖 炉ばた」の歴史や想いをしっかりと受け継ぐために、加藤ご夫妻から直接お話をお伺いするなどして、色々なことを勉強しました。ちゃんと理解しておかなければ、「元祖 炉ばた」の経営はうまくいかないと考えたからです。

加藤 「元祖 炉ばた」は、「天賞酒造」蔵元の三男が自社のお酒を広めるために、約70年前に創業しました。ですから、**天賞の酒を店で提供しなければ、この店を続ける理由がない。**吉田さんには、「天賞の酒を提供し続けてほしい。他の部分は変えてもらっても構い

ません」と伝えました。

事業承継がきっかけとなり地方へ進出 今後の店づくりのヒントにもなった

吉田 守るべき部分は守りつつ、「元祖 炉ばた」の更なる成長に向けて改革に取り組んでいます。**若い世代の顧客を掘り起こすために、天賞の日本酒とビールのみだったアルコールメニューに、ハイボールやサワーなどを追加しました。また、「地域の良さを伝えたい」という創業者の想いを受け継ぎ、「郷土料理」をコンセプトとした新しい料理メニューを追加しました。加えて、生産性を向上させるために、タブレット等を活用した注文管理システムも導入しました。**一方で、長いしゃもじに徳利を載せて提供することや、筆書きの領収書、仙台弁の「おぼんです」といった挨拶など、「元祖 炉ばた」のルーツとなる部分は変えていません。

加藤 承継後、私もお店に来て常連の方々とお話をしながら、みんなが吉田さんたちを温かく迎えてくれています。店が残ったうえ常連の方々と一緒に過ごすこともでき、私たち夫婦は本当に幸せです。

吉田 加藤さんが、丁寧に引継ぎをしてくれたおかげです。当社にとっても、「元祖 炉ばた」を受け継いだことにより、**仙台に進出することができました。**繁華街である東京・新宿に集中してお店を持つことは、経営の効率性が上がるなどのメリットがありますが、コロナ禍等で経営環境が激変した際には、リスクになってしまいます。今後、「元祖 炉ばた」を拠点に、仙台市内に2~3店舗出店することで、収益源を複数持つておくようにしたいと考えています。

Message

経営環境の変化に立ち向かう経営者の方へ

「事業承継」の力とは

新 たな地域への進出の機会が 生まれる

吉田 「元祖 炉ばた」を受け継いだことによって、結果として、仙台に進出することができました。「元祖 炉ばた」の歴史を守っていくことは、この地域でしっかりと根を張ることにつながります。今後、仙台での店舗展開を考えていくうえで、「元祖 炉ばた」の存在は大きいです。



店 づくりのヒントが得られる

吉田 「元祖 炉ばた」を受け継いだことで気付いたことがあります。地域に根付いたお店は、経営環境の変化に強いということです。コロナ禍で人の動きも変わってきています。当社はこれまで都内の繁華街に集中してお店を出してきましたが、これからは郊外の住宅地などにもお店を出して、地域に愛されるお店づくりをしていきたいと考えています。



店 を存続させることができる

加藤 信頼できる吉田さんが店を引き継いでくれたおかげで、「元祖 炉ばた」を存続させることができました。私たちも2代目として、創業者の想いを大事にできました。吉田さんがその想いを大切にしてくれているからこそ、変わらぬ雰囲気「元祖 炉ばた」が残っているのだと思います。常連のお客さまも喜んでますよ。

